

地域自主組織に期待される役割と類型別に見た地域自主組織のあり方

1 地域自主組織に期待される役割

公共サービスの提供	多様性やきめ細かさが求められる地域住民に身近な公共サービスを提供する。
住民の意見の反映	地域住民の意見を汲み取り、地域の総意として集約し、表明する
パブリックな活動の分任	住民が地域の課題に主体的に関わっていく環境や機会を提供する。

2 類型別に見た地域自主組織のあり方

区 分		地域の特徴	地 域 の 課 題 合併に伴う影響	住民自治の方向性	対応方策
類型 1	<ul style="list-style-type: none"> 人口が減少 高齢化が進行 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の流出により過疎化が進行 地域の課題を自主的に解決してきた実績があり、地域に対する愛着が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治活動の活力が低下 自治会の存続が危惧 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の側面支援により、従来の自治会等を存続 自治会間の連携を促進 経験豊富な高齢者の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 支所・出張所の設置 地域審議会での意見表明機会の提供 地域担当職員の配置
類型 2	<ul style="list-style-type: none"> 人口流動が安定的 家族構成や生活実態が均質 	<ul style="list-style-type: none"> 従来、自治活動は低調。 定年退職期を迎える世帯が多く、地域活動に参加できる住民が増加 教育や青少年問題など地域で共有できる課題が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴がない地域として埋没する懸念 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい住民自治を実践するパイオニアとして、他地域の先導的役割を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定施策のモデル地域等に指定し、自治活動を刺激 意見交換の場を設定（ワーキンググループやメーリングリストなど） 自治基本条例を制定するなど公共的活動に取り組みやすい環境を整備 自治活動の担い手育成を支援
類型 3	<ul style="list-style-type: none"> 人口が流入 新旧住民が混在 	<ul style="list-style-type: none"> 従来からの自治会等と新しい団体・グループ等が併存して活動 多様な地域観や行政観が存在 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の間の地域観・行政観の相違が顕在化 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な住民組織の連携によるネットワーク型の地域活動を指向 自治会やNPO等の連絡調整を担う新たな地域自主組織の創出 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査等により多様な住民のニーズを把握 地域担当職員が自治会等とそれ以外の住民組織との間の連絡調整を支援